

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		ふれあいスポーツ広場開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原 哲也
	施策	22	生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	榎野 努
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10774	法令根拠	スポーツ基本法	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・スポーツ推進委員が行うニュースポーツ教室で毎月第1、第3土曜日午前中2時間、老若男女問わず無料で自由参加でき、スポーツの普及(スポーツ未実施者の掘起こし、住民間のニュースポーツによる交流)を目的に、平成14年度から開始。学校のクラスレクリエーションや地域のレクリエーション大会などへ活用のひろがりを見せていたが、近年は参加者の減少により、平成25年5月までで終了し、今後は「合志市スポーツ推進委員配置事業」で「ふれあいスポーツ広場」に変わる新たなスポーツ普及の方策を検討していく。
【業務の流れ】	・毎月のスポーツ推進委員会議で出席者(5名)職員1名を決定、ニュースポーツの準備、受付、また参加者にニュースポーツの指導などを実施。12時に終了。参加回数が10回になった参加者に賞品の授与。(平成25年5月まで)
【主な予算費目】	・需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・地域の体育委員や、PTA委員に選ばれた人たちが、地区やクラスでのレクリエーション大会を開催する時の種目選定、ルールの習得に來られ評価を得ている。 ・積極的に参加していた人からは、再開して欲しいとの要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

1(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
スポーツ推進委員の主導により、ヴィーブルのサブアリーナにてニュースポーツ教室を開催した。平成25年は5月までの3回で23名の参加があった。	平成25年度で終了する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:実施回数	回	
→イ:実施場所	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合志市住民、合志市内企業に勤者	→ア:人口	人
	→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
市民相互の交流とさまざまなニュースポーツを知るきっかけとなる。	→ア:参加者数	人
	→イ:	
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	14	16	24	3				
	イ	箇所	1	2	2	1				
②対象指標	ア	人	56,638	57,206	57,377	58,237				
	イ									
③成果指標	ア	人	149	162	450	23				
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
人件費	(A)事業費計	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	5	5	6	1				
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	72	72	39	10				
	(B)人件費計	千円	290	0	158	39				
トータルコスト(A)+(B)		千円	290	0	158	39				

事務事業名	ふれあいスポーツ広場開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は?	<input type="checkbox"/> 達成した 参加者の減により5月までで終了した。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか?	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ふれあいスポーツ広場を終了した。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか?成果が頭打ちになってないか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 平成25年度で終了した。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は無いため、他に手段がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最少人数で対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 職員は最少人数で対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 無料で実施している。自由参加なので公平・公正であると考えられる。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 住民間のスポーツによる交流も意図しており、行政が行う必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加者が限られているため、多くの方がスポーツにふれることができるよう企画検討する。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					